学校番号	1011

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　数学Ｂ（数研出版）						
副教材等	３ROUND 数学Ⅱ＋B　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題に対して自ら考える力を育むため、授業では例題解説に加えて、演習問題を解いていくことを積極的に実施する。
・授業は教科書に基づいて進行し、副教材に関しては定期考査前や長期休暇等の課題として取り組む形をとる。
・原則授業用ノートと課題用ノートを作成する。
・授業用ノートについては、板書を書き写すだけではなく、ノートの書き方を工夫し、自分の解いた形跡や、先生の発言等をメモできるようにし、オリジナルのノートを作成するように心がける。
・課題用ノートについては、問題の答えを書くだけではなく、その計算結果に至るまでの過程を書くようにする。また、解くことができた問題、解説を見ながら進めた問題、全く分からなかった問題に対して答え合わせをする際には、色を変えるなどの工夫をし、自分の弱点を見える形をとる。
・問題に取り組む姿勢、それに費やす時間や授業や考査までを逆算することを意識させ、成長を自身の成長を実感させる。

2　学習の到達目標

・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学的に考察する能力を身につける。
・数学の良さを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりしようとしている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力や、確率分布や標本分布の性質に着目し母集団の傾向を推測し判断、また標本調査の方法や結果を批判的に考察する力、解決の過程や結果を振り返って考察できる。	数学の良さを認識し数学を活用しようとし、数学的論拠に基づいて柔軟に考え、判断しようとし、問題解決の過程を振り返り、考察を深め、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1章 数列	第1節 数列とその和 1、数列 2、等差数列 3、等差数列の和 4、等比数列 5、等比数列の和 6、和の記号Σ 7、自然数の２乗の和 8、いろいろな数列の和 9、階差数列	a:等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求められる。 また、いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 b:事象から離散的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察できる。 c: 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用しようとしている。	定期考査 提出ノート 確認プリント	定期考査 提出ノート 確認プリント	提出ノート 提出用課題(副読本) 授業態度
		第3節 漸化式と数学的帰納法 10、漸化式と一般項 11、数学的帰納法	a: 漸化式について理解し、漸化式で表された数列の一般項を求めることができる。また、数学的帰納法について理解することができる。 b: 自然数の性質などを見いだし、それらを数学的帰納法を用いて証明することができる。 c:数列の考えを基に、漸化式や数学的帰納法の問題解決に取り組もうとしている。	定期考査 提出ノート 確認プリント	定期考査 提出ノート 確認プリント	提出ノート 提出用課題(副読本) 授業態度
2	第2章 統計的な推測	第1節 確率分布 1、確率変数と確率分布 2、確率変数の期待値 3、分散と標準偏差 4、二項分布 5、二項分布と期待値、分散、標準偏差 6、連続型確率変数 7、正規分布 8、二項分布の正規分布による近似	a:確率変数と確率分布について理解すること。また、二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 b:確率分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 c:各単語が意味することを理解し、問題解決に活用しようとしている。	定期考査 提出ノート 確認プリント	定期考査 提出ノート 確認プリント	提出ノート 提出用課題(副読本) 授業態度
		第2節 統計的な推測 9、母集団と標本 10、標本平均の分布 11、母平均の推定 12、母比率の推定 13、仮説検定	a:標本調査の考え方について理解を深めること。また、正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解できる。 b: 標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。また、目的に応じて収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 c: 各単語が意味することを理解し、問題解決に活用しようとしている。	定期考査 提出ノート 確認プリント	定期考査 提出ノート 確認プリント	提出ノート 提出用課題(副読本) 授業態度

3	数列	1、数列の復習･応用	a:今までに学んだ内容が定着している。基礎的な数式を理解し、問題を解くことができる。 b: 既習の公式や数式に応用できるように適切に判断、処理することができる。 c: 学んだ知識を応用し、自ら課題に取り組もうとする。問題の解説を理解し、総合的な知識をはぐくもうとする。	定期考査 提出ノート 確認プリント	定期考査 提出ノート 確認プリント	提出ノート 提出用課題(副読本) 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度